

平成 21 年 7 月

株式会社福岡中央銀行

地域密着型金融の取組み状況について

株式会社 福岡中央銀行（頭取 末松 修）は、平成 19 年度から平成 20 年度における「地域密着型金融の推進に向けた取組み」として、当行が策定しておりました地域密着型金融に関する基本方針とそれに係る具体的取組みについて、平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月までの取組状況を別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

以上

本件に関するお問い合わせ先
総合企画部 星熊
TEL 092-751-4429

地域密着型金融の取組み状況について
(平成20年4月～平成21年3月)

平成21年7月



【地域密着型金融の取組み状況について(平成20年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成20年4月～平成21年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
(1) 外部機関との連携による創業・新事業支援の強化	
① 福岡県中小企業振興センター、中小企業金融公庫、日本政策投資銀行等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規事業や新事業の展開を支援するために、外部機関である中小企業金融公庫や日本政策投資銀行等との連携を図り、相談窓口の強化に努めました。 ▶ 具体的には、営業店の渉外活動の他、本店に設置しているお客様相談センター、融資相談センターでの相談受付を通じて、創業・新事業に取り組みたいという各企業のニーズを把握して福岡県中小企業振興センターを紹介するなど、相談者に対して支援を図りました。 ▶ また、資金が必要なお取引先については、業務連携等の提携を行っている中小企業金融公庫や日本政策投資銀行に融資の取次ぎを行い、特に当行での融資取り組みとして、福岡県信用保証協会の創業関連保証融資や経営革新関連保証融資等の制度融資資金に積極的に取り組みました。 <p>【平成20年度の創業・新事業関連制度融資取扱実績】 34件／165百万円</p>
(2) 経営支援対象先の選定による経営改善支援・事業再生の強化	
① 半期ごとに経営支援対象先を選定し、経営改善支援や事業再生に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営支援対象先の選定については、期初に全店ヒアリングを実施し、資産劣化防止及び債務者区分の下位遷移を防止するなど、選定理由を明確にした上で決定し、中小企業再生支援に向けて個社別に再生手法の検討を行い、事業の再構築に関する指導や助言等を積極的に行い経営改善、事業再生支援に取り組みました。 <p>その結果、平成20年4月から平成21年3月までに累計で96先の経営支援を図り、うち11先(11.4%)がランクアップしました。</p>
② 福岡県中小企業再生支援協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営環境が悪化している取引先企業に対し、きめ細かな事業再生を支援するため、福岡県中小企業再生支援協議会と連携し経営改善計画の策定およびフォローアップの支援に取り組みました。 ▶ また、中小企業再生支援協議会との連携により、再生計画の実現可能性が高いと判断した既存取引先ではない支援先の再生計画に参加し、融資を行いました。 <p>【平成20年度の福岡県中小企業再生支援協議会の活用実績】 4先／与信総額718百万円</p> <p>【取り組み事例】 対象企業は業歴40年以上の食肉販売・食品製造業者でピーク時にはスーパー等に複数の店舗を出店し業況も旺盛であったが、貸倒の発生などから業績が低迷し同社のメイン銀行とも取引関係が不芳となり、平成15年からは県信用保証協会の代位弁済を受け求償権債務の履行中であった。その様な厳しい状況にあるなか、5年余りの求償権債務の履行実績が県信用保証協会から評価され、中小企業再生支援協議会の支援を得て事業再生に取り組むこととなり、中小企業再生支援協議会から資金援助打診を受けた当行は同社との取引はなかったものの、同協議会を通じて提出を受けた経営改善計画書の事業再生に関する資料を検証し実態把握を行った結果、再生可能と判断し、同社に対して新たな運転資金等の資金援助を行いました。</p>

【地域密着型金融の取組み状況について(平成20年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成20年4月～平成21年3月)
<p>(3) 外部機関との連携による事業承継の強化</p> <p>① (株)日本M&Aセンター、(株)レコフ等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部機関と連携を取りながら中小企業の円滑な事業承継の支援に取り組みました。「事業承継セミナー」(1回開催、参加者104名)を独立行政法人中小企業基盤整備機構と共催し、経営者や事業承継者に対して「中小企業を取り巻く事業承継問題の現状と事業承継対策の必要性」「事業承継に係る我が国の政策、各機関が実施する施策の紹介」について講義を行いました。 ▶ 事業承継のニーズを把握するため「お客様サービスセンター」で情報を定期的に集約しました。また、M&Aに係るアドバイザー契約を締結した先については、提携会社と連携しながらフォローを実施しています。
<p>(4) 行内及び外部研修による目利き能力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 行内研修として、「融資上級研修」に延べ54名、「融資中級研修」に延べ22名、「融資初級研修」に延べ37名、「渉外上級研修」に延べ64名、合計177名が参加し、目利き能力の向上に努めました。 ▶ 行外研修として、第二地方銀行主催の「目利き能力強化研修」に9名、「融資推進事例研究講座」に3名、「融資渉外スキルアップ講座」に9名、「債権管理回収講座」に1名、「金融ビジネス研究講座」に1名、合計23名を派遣し目利き能力の向上に努めました。
<p>(5) 事業承継ファンドへの参画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成20年7月の事業承継ファンド「九州・リレーションシップ1号投資事業有限責任組合」の設立に際し、同ファンドの「主に後継者難による事業承継問題に直面している九州地域の中小企業の事業承継を実現し、企業の安定成長に貢献する」という目的に賛同し、九州の他の地域金融機関とともに出資を行いました。今後も事業承継問題を抱える地元中小企業の支援を図ってまいります。

【地域密着型金融の取組み状況について(平成20年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成20年4月～平成21年3月)
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の強化	
① スコアリングモデルを活用した融資の推進	<p>▶ 平成15年7月から取り扱いを開始した無担保・無保証人でのスコアリング融資商品「事業応援ローン」、平成17年5月に商品内容の見直しを行った「スーパー事業応援ローン」、平成18年11月に借入限度額の拡大等の商品改良を行った「事業応援ローンワイド」を積極的に推進しました。</p> <p>【平成20年度の取扱実績(3種類合計)】 295件/2,140百万円 ※別紙「2. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績」参照</p>
② 動産・債権譲渡担保融資への取組み	<p>▶ 当行とお取引のある中小企業の約4割は製造・建設・運輸業であったことから、その主要資産である営業車両や機械設備を担保とすることで、不動産を持たない中小企業に対しても新たな資金提供手段としてニーズに応じていくことを目的に、トラック・バス・特殊自動車等を担保にした「福中銀トラック担保ローン」と、工作機械・印刷機械・建設機械等を担保とした「福中銀動産担保ローン」の商品化を図っております。</p> <p>本商品は平成20年2月から取り扱いを開始し、これにより、不動産を持たないお取引先の幅広い資金ニーズにお応えしております。</p> <p>【平成20年度の取扱実績(2種類合計)】 12件/157百万円 ※別紙「2. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績」参照</p> <p>▶ また、売掛債権担保融資にも取り組み、お取引先の資金調達方法の選択肢の拡大に努めています。</p> <p>【平成20年度の取扱実績】 52件/446百万円 ※別紙「2. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績」参照</p> <p>▶ 中核店舗に融資開拓の専担者を配置し、不動産担保・個人保証に過度に依存しないローンや動産担保融資の他、緊急保証融資等に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出残高が増加しました。</p> <p>【平成20年度(平成21年3月31日現在)の中小企業等向け貸出金残高実績】 2,936億円(前年同期比+209億円) 貸出金残高全体に占める比率 90.71%</p>
③ シンジケートローンの活用	<p>▶ 福岡県内企業の資金ニーズや福岡県の経済発展に寄与する資金ニーズにお応えしていくための融資手法としてシンジケートローンに取り組んでいます。</p> <p>また、シンジケートローンの受付窓口を営業統括部に集中し効率的な対応を行っています。</p>

【地域密着型金融の取組み状況について(平成20年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成20年4月～平成21年3月)
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
(1) 取引先への営業情報やビジネスマッチングの機会提供	
① ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部の活用	<p>▶「ふくちゅうぎん経営者倶楽部」経営塾21”WEB倶楽部」は経営ノウハウの提供・会員企業の発展・地域社会の発展を目的として、会員に対して経営情報の提供やビジネスマッチング等に取り組んでいます。経営者・事業承継者および企業経営のノウハウを修得したいと考えているお客様に、インターネットを活用して、日常の経営実務に役立ち、ビジネスチャンスに直結する様々な情報をタイムリーに提供しました。</p> <p>【平成20年度の具体的取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インターネットによる情報提供(16コンテンツ) ②リーダーズ・レポート発行(12回) ③マネジメントレター発行(48回) ④経営レポート提供 ⑤eラーニング(6講座) ⑥セミナーの動画配信(21種類)
② 九州金融情報ネットワーク(QFネット)の活用	<p>▶九州金融情報ネットワーク(QFネット)とは九州地区の第二地方銀行8行のネットワークで、各行が持つ「ビジネス情報」を共有しております。情報交換によって、地域社会への貢献並びに地元企業の発展や存続の支援等を図り、地域経済の活性化を目指しております。</p>
③ 福中銀ビジネス情報交換制度(ビジネスサポートナビ)の活用	<p>▶福中銀ビジネス情報交換制度(通称ビジネスサポートナビ)とは、営業活動の中で各店が把握したお取引先の様々なビジネス情報について、行内イントラを活用して情報集積し、それを僚店間で共有する制度です。この制度を活用し、お取引先のM&Aニーズや不動産ニーズの他各種の営業ニーズに応じたビジネス情報をタイムリーに提供して、ビジネスマッチングの機会を提供しました。</p>
④ 各種ご相談への対応	<p>▶下記の相談センターで、お客様からの電話、FAX等による各種のご相談にお応えしました。</p> <p>「融資相談センター」 企業や個人のお客さま、さらに今後、事業を始めようとお考えの方などの借入れに関する相談や公的機関等への仲介 創業・新事業支援 経営改善等についての相談・支援等</p> <p>「お客さまサービスセンター」 地域・お客さまからの経営・税務等の各種相談 事業承継・M&A、ビジネスマッチング等の相談・支援 経営者クラブや各種セミナーへの参加お申込み等</p> <p>「保険・投信窓販センター」 生命保険銀行窓販業務に関する相談 損害保険銀行窓販業務に関する相談 資産運用に関する相談</p>

【地域密着型金融の取組み状況について(平成20年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成20年4月～平成21年3月)												
(2) 店舗リニューアル、バリアフリー設備の充実	▶平成20年度は、雑餉隈支店、新室見支店、久留米支店、大牟田支店の4店舗を新築およびリニューアルしバリアフリー化しました。 今後も店舗の建替やリニューアル等を随時行い、お客様に心地よく便利にご利用いただける店舗づくりに努めてまいります。												
(3) 地域内行事への積極的な参加	▶博多祇園山笠、大牟田大蛇山まつり、春日市商工展まつり等各地域の祭りへの参加や博多どんたく松離子のお出迎え等、本店・支店ともに地域内行事へ積極的に参加しております。												
(4) 資産運用セミナーの実施	▶馬出支店(参加者23名)、雑餉隈支店(参加者16名、個別相談3名)にて、野村證券(株)より講師を迎え「最近の投資環境」「リスクとの上手なつきあい方」と題した資産運用セミナーを実施し「わかりやすい」「参考になった」等の好評を得ました。												
(5) 次世代育成支援型住宅ローン及びエコ住宅ローンへの取組み	<p>▶安心して子育てできる環境づくりの支援として、子育て家庭・新婚家庭を対象に金利を引き下げる住宅ローンを開発・提供しました。</p> <p>(A)商品名を「次世代育成支援型住宅ローン:①”すこやかファミリー” ②”ようこそ新婚さん”」とし、お子様の人数等に応じた金利引下げ制度を設けました。</p> <p>▶環境保護に向けた取り組みとして、オール電化住宅や省エネ設備等を設置した住宅を対象に金利を引き下げる住宅ローンを開発・提供しました。</p> <p>(B)商品名を「エコ住宅ローン:①”オール電化住宅ローン” ②”ホットメリット住宅ローン”」とし、九州電力株式会社および西部ガス株式会社との提携により金利引下げ制度を設けました。</p> <p>【平成20年12月(取扱開始日)から平成21年3月までの実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>(A)のみ</td> <td>・・・53件</td> <td>1,102百万円</td> </tr> <tr> <td>(B)のみ</td> <td>・・・7件</td> <td>116百万円</td> </tr> <tr> <td>(A)(B)併用</td> <td>・・・7件</td> <td>183百万円</td> </tr> <tr> <td>< 合計 ></td> <td>67件</td> <td>1,402百万円</td> </tr> </table> <p>今後も、リテール分野における住宅ローンを中心に、積極的に金利引下げ制度を活用し、次世代育成支援や環境に優しい住宅の普及支援を行い、地域経済の活性化に努めてまいります。</p>	(A)のみ	・・・53件	1,102百万円	(B)のみ	・・・7件	116百万円	(A)(B)併用	・・・7件	183百万円	< 合計 >	67件	1,402百万円
(A)のみ	・・・53件	1,102百万円											
(B)のみ	・・・7件	116百万円											
(A)(B)併用	・・・7件	183百万円											
< 合計 >	67件	1,402百万円											

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項 目			平成19年度実績 (平成19年4月～平成20年3月)	平成20年度実績 (平成20年4月～平成21年3月)
経営改善支援への取組み (正常先を除く)	期初債務者数	①	3,620 先	4,204 先
	経営改善支援取組み先数	②	101 先	96 先
	経営改善支援取組み率	②÷①	2.79 %	2.28 %
再生計画策定率 (正常先を除く)	再生計画策定先数	③	0 先	9 先
	再生計画策定率	③÷②	0.00 %	9.38 %
ランクアップ率 (正常先を除く)	ランクアップ先数	④	4 先	11 先
	ランクアップ率	④÷②	3.96 %	11.46 %
創業・新事業支援融資実績			42 件	34 件
			242 百万円	165 百万円

2. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績

項 目	年間取扱高実績	決算期末残高
	平成20年4月～平成21年3月	平成20年度(平成21年3月末)
スコアリングモデルを活用した融資	295 件	3,000 件
	2,140 百万円	13,062 百万円
動産・債権譲渡担保融資	64 件	18 件
	603 百万円	226 百万円
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業への融資	9 件	43 件
	56 百万円	117 百万円

(注1)「スコアリングモデルを活用した融資」は担保・保証人を必要としない商品である「事業応援ローン」が主なものとなっております。

(注2)「動産・債権譲渡担保融資」はトラック・機械等の動産及び売掛債権を担保とした融資が主なものとなっております。

(注3)「財務諸表の精度が相対的に高い中小企業への融資」はTKCとの連携による融資が主なものとなっております。